

事例 14

リーチャー(パッシブ)の製作

1 相談内容

本人が利用している福祉用具貸与事業所(以下、業者)から、リーチャー(パッシブ:passive)が作れないだろうかと相談がありました。リーチャー(パッシブ)は通常、先端のつかむ部分が閉じており、手元グリップを握ると先端部が開く構造をしています。福祉用具カタログにも以前は掲載されていた商品でしたが、今では廃盤になっています。

本人は県外・遠方の方だったため、業者からその方の詳しい身体状況などをお聞きした上で製作することとしました。

2 利用者プロフィール

40 代女性、全身性エリテマトーデスによる障害のある方で身体障害者手帳 1 級です。本人は電動車いすを利用しています。

3 対応

まず本人が使用している既存のリーチャー(パッシブ、全長 46cm)をお借りし、長さ・重さ、グリップ握りの固さなどを確認しました。本人は全長が 60cm で重量 200g 以内のリーチャー(パッシブ)を希望されました。100 円ショップで売られていたリーチャーを短く切り、バネとワイヤーを使用してグリップを握ると先端部が開くように製作しました。グリップ握りの固さはバネ力に影響されるので、いくつかのバネで握りを確かめ、モノをつかんだ時の保持力も確認して選択しました。また強度を考え、当初の先端部は鉄板で作っていましたが、軽量化を図るためプラスチックに交換にして再製作し重量を 100g までにしました。



既存リーチャー(パッシブ)と試作品(下側)



先端部を改良し軽量化

4 結果

本人からは使いやすいとの感想をいただいています。

5 予算

2,000 円程度